

## 研究課題名「COVID-19による外出自粛時に呼吸器疾患患者の身体活動量に影響を与える要因」に関する情報公開

### 1：研究の対象

旭労災病院呼吸器内科に定期通院し「外出の制限が呼吸器疾患患者に与える影響についての研究」に関するアンケート調査に参加されている方

### 2：研究目的・方法・研究期間

#### 【研究目的】

呼吸器疾患の方の身体活動量が減少すると死亡リスクが増加すると言われており、呼吸器疾患の方の身体活動量を改善させることは大切です。

2020年に新型コロナウイルス（COVID-19）が世界的に大流行し、日本国内では緊急事態宣言が発出されて、感染拡大を防ぐために外出を自粛するように呼びかけられ、呼吸器疾患の方の身体活動量は減少しました。呼吸器疾患患者の身体活動量に関連する要因として呼吸の息苦しさや各個人の行動変容への準備段階などが関連することはわかっていますが、COVID-19による外出自粛時の身体活動量に影響を与える要因については十分に検討されていません。

そこで本研究では、旭労災病院呼吸器内科に定期通院しアンケート調査に参加されている方を対象として、COVID-19感染対策のための外出自粛時の身体活動量に影響を与える要因を検討することを目的としています。本研究の成果は、呼吸器疾患患者の身体活動を維持するための効果的なリハビリテーションや指導方法につながると考えます。

#### 【方法】

本研究は旭労災病院で実施されている「外出の制限が呼吸器疾患患者に与える影響についての研究」の調査データを二次的に利用させていただくものです。対象者に新たな検査を行うものではありません。今回は上記研究で調査された結果を二次的に利用させていただきます。

#### 【研究期間】

実施承認日から2025年3月31日

### 3：研究に用いる試料・情報の種類

身体活動量（International physical activity questionnaire：IPAQ）、呼吸困難（Modified Medical Research Council Dyspnea Scale：mMRC）、QOL（COPD assessment：CAT）、運動に関する行動変容ステージ、入院回数、急性増悪回数、要介護度、年齢、性別、BMI

#### データの取り扱いについて

提供を受けるデータは、個人を特定できる情報を一切含みません。そのため、本研究を実施することで、研究にご協力いただいた方の個人情報が出ることはありません。そのように、個人が分からないようにしたデータファイルは、パスワードロックをかけた外付けハードディスクを用いて名古屋大学医学部保健学科内の鍵付きロッカーにて厳重に保管します。データ廃棄に関しては研究終了後、名古屋大学医学部保健学科内で 10 年間保管した後、印刷物はシュレッターで破断し、電子データは消去用ソフトで適切に削除します。

#### 4：お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

#### 連絡先（研究責任者）：

名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻  
教授 内山靖

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL/FAX 052-719-3155

メールアドレス [uchiyama@met.nagoya-u.ac.jp](mailto:uchiyama@met.nagoya-u.ac.jp)

#### 苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科 総務係

電話 052-719-1504